

事例：MSPサービス

パブリッククラウドのコンサルティングから運用までを一括で提供するサービス

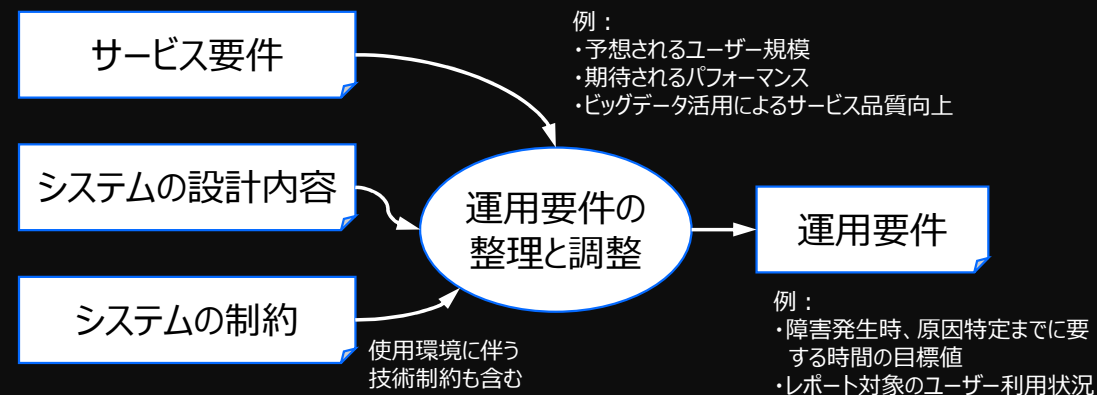


担当業務範囲



運用要件定義

運用受け入れのための準備及び調整



得意環境：

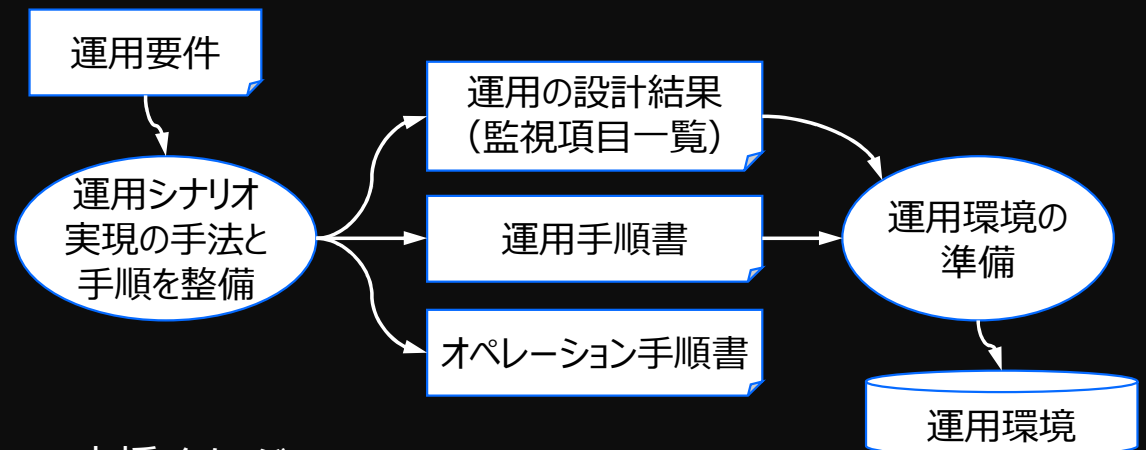
Azure開通業務 ※詳細はAppendixへ

支援イメージ：

- ・顧客受け入れに伴う設計構築チームからの運用業務引継ぎ
- ・サービス要件および技術要件の妥当性検証及び提案
- ・設計構築チームのシステム設計結果を運用視点でレビュー
- ・運用シナリオの協議、および合意
- ・運用要件の定義

運用設計

監視項目の検討、設計、及び設計結果の反映



支援イメージ：

■ 監視項目の設計

- ・運用要件を満たすために必要な監視項目の分析と定義

■ 手順書の作成

- ・日々の監視業務手順の定義（オペレーター向け）
- ・環境構築、復旧等の業務手順の定義（運用者向け）

■ 環境構築

- ・Azure AD及び運用管理ツールの運用者アカウント管理

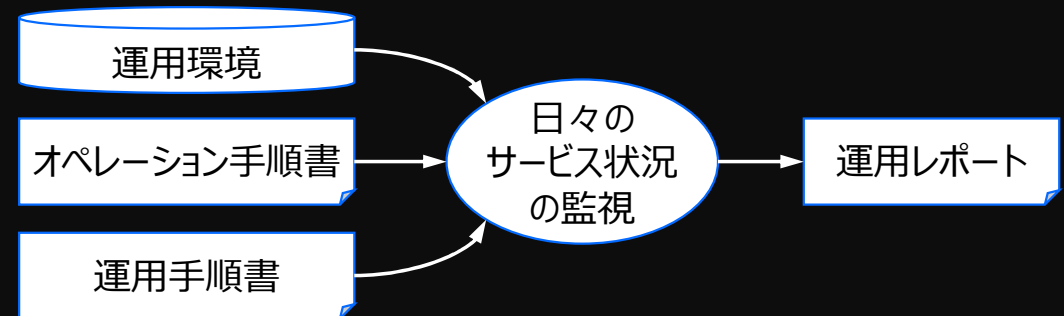
- ・監視項目の設定

■ プレ運用（顧客テスト）事例

- ・Azureの監視設定、ITSM（ServiceNow）連携 … 9割
- ・zabbix監視設定 … 1割

運用実務

日々の運用業務（オペレーション）



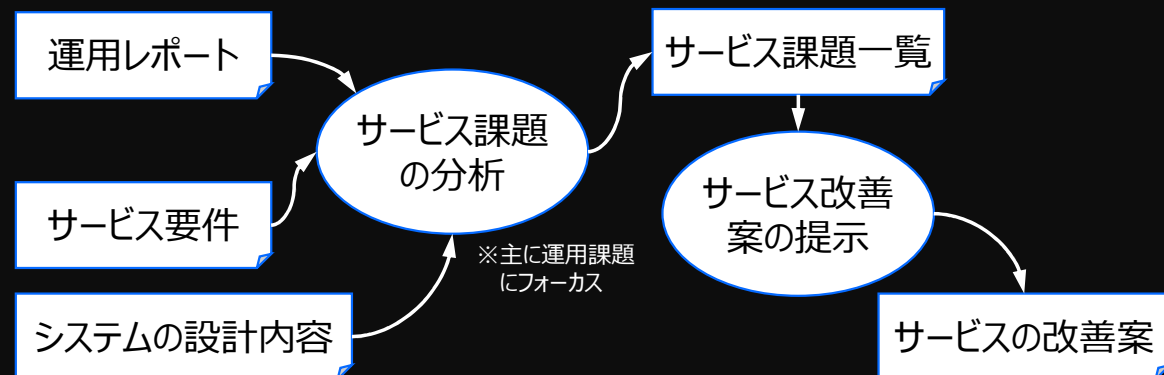
支援イメージ：

■ ServiceNowによる運用業務

- ・インシデント対応のコーディネート
- ・問い合わせ対応及びMicrosoft問い合わせ代行
- ・サービスカタログで規定された定型業務に関するマネジメント

サービス改善提案

サービス全体を通じた課題分析と改善策のご提案



支援イメージ：

- ・内部課題についての洗い出し
- ・自動化可能業務を分析＆検討の上、開発担当に依頼
- ・提供しているシステム構成の適宜見直し及び提案

支援事例：

- ・リフト&シフト後の移行についてシステムの最適化案を提案
- ・Cloud SphereのCMP製品を利用していたため Iqsonar（構成分析ツール）導入を検討 ※Appendix参照

主な使用環境

使用Azure Service

- Azure AD
- Azure NSG
- Azure VM
- Azure Cosmos DB
- Azure SQL Database
- Azure app service
- Azure monitor (Application Insights含む)
- Azure LogAnalytics
- Azure Logic Apps
- Azure Automation
- AVD

使用OS

- Windows Server 2012
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux Server release 7.7
- Red Hat Enterprise Linux 8.1
- CentOS 7.9



主な使用環境

使用ミドルウェア

- Zabbix 3.0
- Apache
- Tomcat
- (DBは主にAzureサービス)

使用ツール

- Service Now
- Git Hub
- Circle CI
- BackLog

使用コミュニケーションツール

- Slack
- Google Workspace

Appendix

Appendix : Azure開通業務詳細

Microsoftパートナーであったためパートナーセンターを通してテナント作成及びサブスクリプション契約を実施
共通化されているリソース作成は自動化しており、個別対応が必要な部分についてのみ手動対応

自動化 : GitHubにて顧客リポジトリを作成（主にテンプレからコピーし設定ファイルのパラメータ編集 実行
ファイルのフラグを立てる）

→ masterから本番ブランチへマージをすると自動的にCircleCIが動き Azureのリソースが諸々作成される

テナント作成 サブスクリプション契約

Microsoft パートナーセンター



Git Hub



共通リソース作成

Circle CI



Azure顧客テナント

